

（仮称）やまと芸術文化ホールの建設に向けて

1．新ホール建設の必要性

- ・ 市内では、多くの市民が音楽、演劇などの芸術文化に関心をもち、積極的に活動している。
- ・ 市としても、こうした活動に対し、発表の機会や場を提供し、手軽に芸術文化に触れ合うための環境づくりを進めてきた。
- ・ 現在、市民の芸術文化活動を支える中心的な施設としては、生涯学習センターホールや保健福祉センターホールがあるが、これらのホールは老朽化などにより、芸術文化に対する高いニーズに十分応えられていない状況にある。
- ・ また、市民の価値観が多様化し、生活の質的向上や魅力のある街づくりへの関心が高まる中、今後、市としては、街の魅力を創出する上で大切な要素となる芸術文化をまちづくりにいかに取り込んでいくのかが重要な課題となっている。
- ・ こうした状況を踏まえ、本市が目指している「多様な文化や芸術の育成」と「文化の薫るまちづくり」を実現するため、多彩な芸術文化活動に対応し、地域に根ざした芸術文化を育み、さらには、地域社会や地域経済の活性化にも貢献できる新たな中核的文化施設の整備を進めるものである。

2．これまでの検討経緯

昭和 63 年 3 月	文化に関する大和市民意向調査実施（20歳以上の市民3,000人対象） ・市民が建設してほしい文化施設を調査 ・全階層で「大ホールのある多目的利用の文化センター」が1位となる。
平成 2 年 5 月	基礎調査報告書（第1次） ・神奈川県内におけるホールの現況と動向 ・ホール建設を計画するにあたって、検討すべき点の整理 ・運営等のソフト面に関する考え方
平成 3 年 5 月	基礎調査報告書（第2次） ・建設計画にあたってのハード面の基礎的条件 （ホールに望まれる性格、ホールの規模、舞台、客席関連施設、施設の概要、立地条件、建設面積）
平成 3 年 11 月	生涯学習・余暇に関する大和市民意識調査実施 （20歳以上の市民3,000人対象） ・ホールに望まれる性格、ホールの規模と形態、施設の概要、立地条件を調査
平成 4 年 3 月	大和市に望まれるホールについて 提言（市長から諮問を受け提言） ・基本的な考え方、ホールの構成、立地条件、運営、建物デザインについての提言 ・大和市（仮称）芸術文化ホール検討委員会（市内の芸術家等16名）
平成 7 年 4 月	政策会議（庁議） ・建設候補地を西松建設所有地に特定 （大和市深見西2-5-3、面積：13,766.41㎡）
平成 19 年 9 月	西松建設所有地を建設候補地から除外。

3. 平成19年度の取り組み

施設の内容や規模、立地などの基本的な要件の整理、建築手法、運営手法などの整備の方向性について調査、検討を行い、基本構想の策定を目指す。

(1) 検討体制

(仮称) やまと芸術文化ホール基本構想検討委員会

- ・ 基本構想策定のための中心的な検討組織
- ・ 検討結果については「望まれるホールのあり方」として市長に提言いただく。
 庁内検討会議
 - ・ 企画部、総務部、生涯学習部、都市部、市民経済部の部長級職員により検討会議を組織
 - ・ 有識者による検討委員会と連携して検討を進める。
 - ・ 全体の進行状況のコントロール、検討結果の確認を行う。
 - ・ 検討委員会からの提言を受け、基本構想案を作成する。
- 市民アンケート調査
 - ・ 市民ニーズの把握(12月実施)
- 市議会
 - ・ 市議会には機会に応じて報告を行うとともにご意見を伺っていく。
- コンサルティング委託
 - ・ 基本構想策定のための基礎調査(望まれるホール像の整理、施設概要の検討)
 - ・ 検討委員会の運営支援

(2) 検討スケジュール

年度	平成19年度						平成20年度
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月~7月
議会	会派別ヒアリング 検討経過の報告(各議員に通知)						提言と構想案報告
市民アンケート調査			アンケート実施 データ集計分析				
検討委員会(専門家)		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
市に提言を提出							
庁内検討会議事務局			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
							意見交換会 パブコム 基本構想 決定
コンサルティング委託	業務委託	望まれるホール像の整理(目的、立地、市民意向等) 施設概要の検討 検討委員会の運営支援等					

(3) 市民アンケート調査

調査目的

「市民にとって望まれるホール」の全体像を把握するため、アンケート調査を実施する。

調査項目

- ・ 施設の立地条件
- ・ 施設の特徴、性格
- ・ メインホール機能
- ・ メインホール規模
- ・ 併設する施設
- ・ 舞台芸術への関心度
- ・ 施設建設に向けた意見、要望（自由意見）

調査対象

無作為に抽出した16歳以上の市民 3,000人

調査形式

郵送方式

調査時期

平成19年12月3日（月）～12月25日（火）

集計分析、考察は1月中旬までに行う予定。